

■住宅の所有関係別住宅数（平成15年10月1日現在）

	住宅数	総数	持ち家	借					不詳 その他
				公 営	公団・公社	民 営	給与住宅	計	
横浜市	住宅数	1,375,000	772,000	44,480	48,740	412,430	57,170	567,500	35,500
	割合	100%	56.1%	3.2%	3.5%	30.0%	4.2%	41.3%	2.6%
神奈川区	住宅数	100,610	47,200	1,700	4,910	38,240	4,350	49,200	4,210
	割合	100%	46.9%	1.7%	4.9%	38.0%	4.3%	48.9%	4.2%

*総数には、住宅の所有関係「不詳」を含む。

〔資料：平成15年住宅土地統計調査〕

■住宅の所有関係別住宅状況（平成15年10月1日現在）

		住宅数	世帯数	世帯人員	1住宅当	1住宅当	1住宅当	1人当	1室当
					たり居住	たり居住	たり延面	たり居住	たり人員
横浜市	総数	1,375,000	1,389,000	3,456,200	3.96	27.13	73.04	10.72	0.64
	持家	772,000	783,600	2,236,400	4.89	34.61	95.03	12.01	0.59
	借家	567,500	569,900	1,152,600	2.70	16.94	43.12	8.35	0.75
神奈川区	総数	100,610	101,250	216,300	3.44	22.94	62.34	10.60	0.63
	持家	48,910	49,470	130,530	4.67	32.05	88.93	12.01	0.57
	借家	49,660	49,740	82,810	2.23	13.96	36.15	8.37	0.75

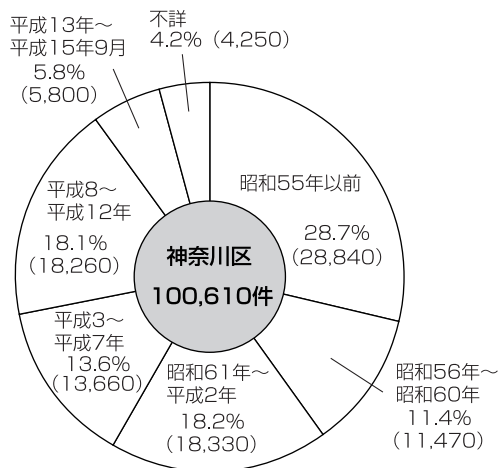
〔資料：平成15年住宅土地統計調査〕

■1か月1畳当たり家賃別借家数（平成15年10月1日現在）

		総数	50円 未満	50 ～ 500	500 ～ 1,000	1,000 ～ 2,000	2,000 ～ 3,000	3,000 ～ 4,000	4,000 ～ 5,000	5,000 ～ 8,000	8,000 円以上	不詳
	割合	100.0%	1.8%	1.3%	4.3%	9.5%	6.9%	14.7%	19.5%	26.5%	13.6%	2.0%
神奈川区	住宅数	49,200	520	690	1,810	2,650	2,780	4,670	7,170	13,990	13,190	1,730
	割合	100.0%	1.1%	1.4%	3.7%	5.4%	5.7%	9.5%	14.6%	28.4%	26.8%	3.5%

〔資料：平成15年住宅土地統計調査〕

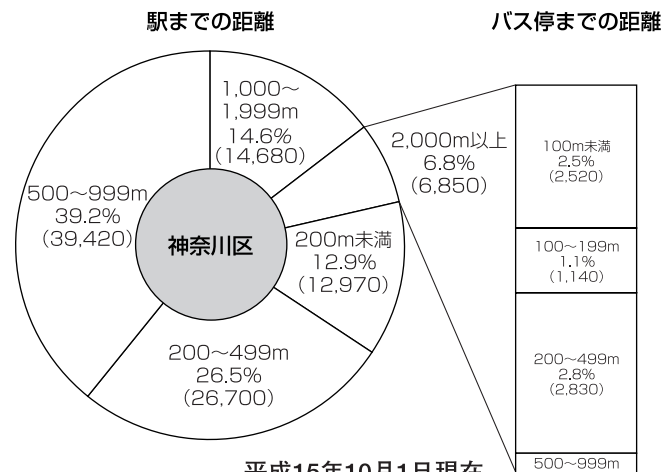
■建築の時期別住宅数



平成15年10月1日現在

〔資料：平成15年住宅・土地統計調査〕

■最寄りの交通機関までの距離別住宅数

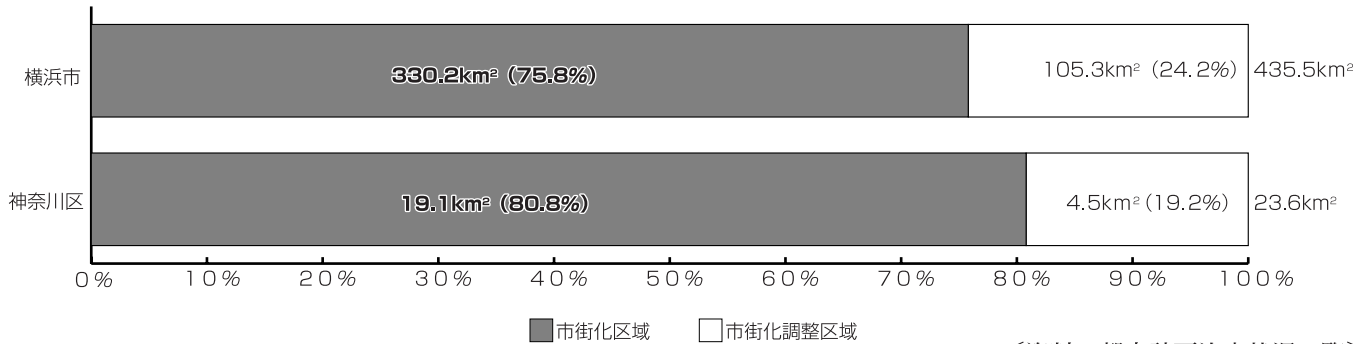


平成15年10月1日現在

〔資料：平成15年住宅・土地統計調査〕

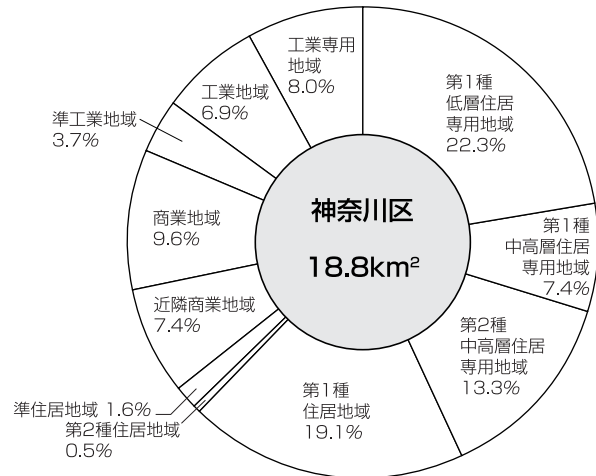
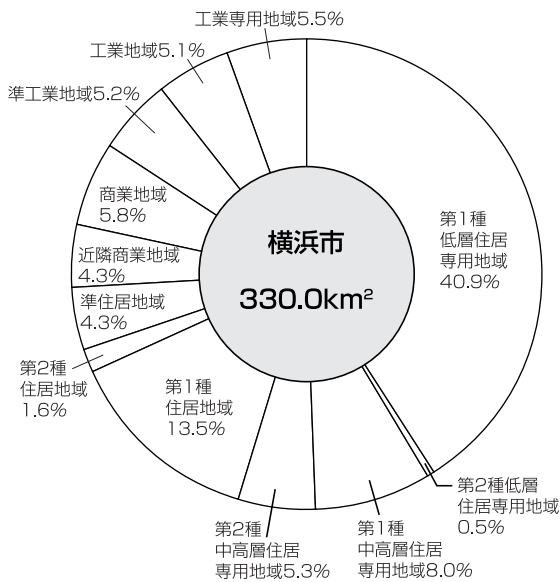
●土地の活用等

■市街化区域の割合（平成20年4月1日現在）



〔資料：都市計画決定状況一覧〕

■用途別地域の割合（平成20年4月1日現在）



〔資料：都市計画決定状況一覧〕

- 第1種低層住居専用地域：建ぺい率30～60%、容積率60～100%
- 第2種低層住居専用地域：建ぺい率40～60%、容積率60～150%
- 第1種中高層住居専用地域：建ぺい率60%、容積率150%
- 第2種中高層住居専用地域：建ぺい率60%、容積率150%
- 第1種住居地域：建ぺい率60%、容積率200%
- 第2種住居地域：建ぺい率60%、容積率200%

- 準住居地域：建ぺい率60%、容積率200%
- 近隣商業地域：建ぺい率80%、容積率200～400%
- 商業地域：建ぺい率80%、容積率400～800%
- 準工業地域：建ぺい率60%、容積率200・400%
- 工業地域：建ぺい率60%、容積率200%
- 工業専用地域：建ぺい率40・60%、容積率200%



●道路・交通

■道路延長・面積（平成20年4月1日現在）

		道路延長 (m)		道路面積 (m ²)		
		延長 (率)	舗装率	面積 (率)	道路率※	
横浜市	国道	110,982 (1.44%)	100.00%	2,674,252 (4.73%)		
	県道	199,782 (2.59%)	100.00%	2,822,867 (5.00%)		
	市道	7,298,391 (94.53%)	98.32%	47,433,776 (83.95%)		
	有料道路	111,285 (1.44%)	100.00%	3,570,222 (6.32%)		
	総延長	7,720,440 (100.00%)	98.41%	56,501,117 (100.00%)		
神奈川区	国道	11,993 (2.83%)	100.00%	316,553 (10.31%)		
	県道	10,757 (2.54%)	100.00%	225,178 (7.33%)		
	市道	392,848 (92.73%)	98.77%	2,323,503 (75.65%)		
	有料道路	8,050 (1.90%)	100.00%	206,196 (6.71%)		
	総延長	423,648 (100.00%)	98.86%	3,071,430 (100.00%)		

※「道路率」行政区面積に対する道路面積の割合

■自動車台数（平成20年3月31日現在）

		総数	自動車				小型2輪	軽自動車	
			総数	貨物用	乗合用	乗用			特種(殊)
横浜市	自家用	1,172,102	1,123,952	95,471	1,431	1,003,841	23,209	48,150	...
	事業用	42,141	42,105	27,111	2,427	7,241	5,326	36	...
	全体	1,462,428	1,166,057	122,582	3,858	1,011,082	28,535	48,186	248,185
	(率)	(100.00%)	(79.73%)	(8.38%)	(0.26%)	(69.14%)	(1.95%)	(3.29%)	(16.97%)
神奈川区	自家用	68,505	64,924	7,482	54	55,820	1,568	3,581	...
	事業用	3,219	3,213	2,230	16	430	537	6	...
	全体	87,449	68,137	9,712	70	56,250	2,105	3,587	15,725
	(率)	(100.00%)	(77.92%)	(11.11%)	(0.08%)	(64.32%)	(2.41%)	(4.10%)	(17.98%)

資料：国土交通省関東運輸局神奈川運輸支局登録部門

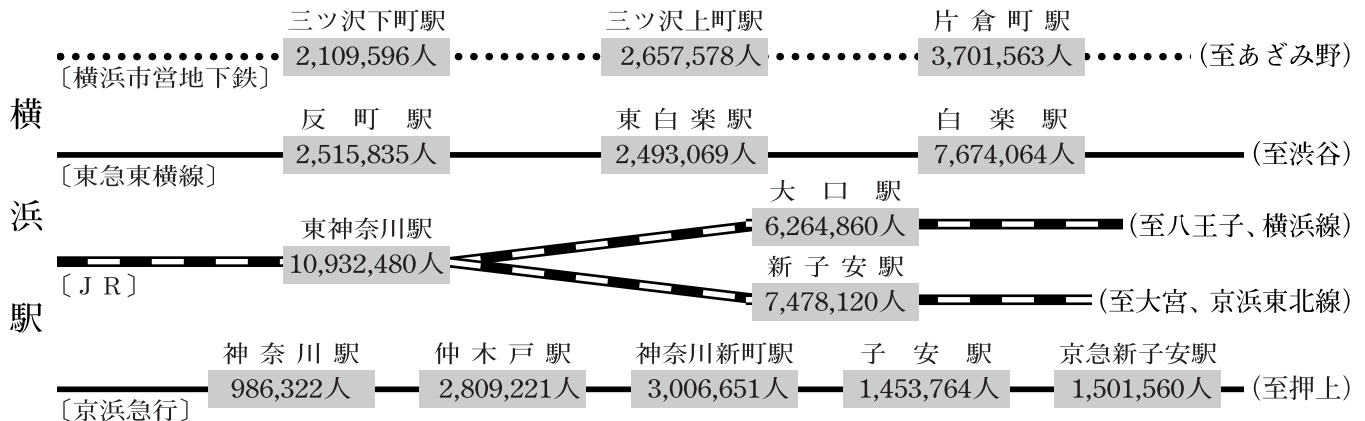
■神奈川区主要地点の自動車類の交通量（平日朝7時～夜7時）

(台)

調査地点名※ ※地番が変更になった調査地点があります	平成9年度	平成11年度	平成17年度								
			総数	総数	総数	乗用自動車類			貨物自動車類		
						総数	乗用車	バス	総数	小型貨物	普通貨物
高速神奈川	1号 横羽線 千若町一丁目501	55,378	55,026	50,487	29,668	29,353	315	20,819	9,506	11,313	
	2号 三ツ沢線 三ツ沢西町506	—	—	36,030	23,172	22,816	356	12,858	5,198	7,660	
一般国道	1号 三ツ沢下町3	27,545	28,320	22,087	14,635	14,286	349	7,452	4,244	3,208	
	1号 反町	30,137	29,248	26,194	17,370	16,695	675	8,824	5,873	2,951	
	1号 金港町1	57,644	56,187	40,096	26,341	25,847	494	13,755	7,397	6,358	
	15号 東神奈川2	36,195	39,924	34,033	18,910	18,688	222	15,123	6,797	8,326	
主要地方道(県道)	東京丸子横浜線 白幡東町20	10,172	9,769	7,940	5,429	5,344	85	2,511	1,814	697	
	横浜生田線 西神奈川二丁目3-4	20,319	21,611	19,982	12,900	12,364	536	7,082	3,894	3,188	
	横浜生田線 三枚町645	13,346	13,911	15,063	9,230	8,880	350	5,833	3,649	2,184	
主要地方道(市道)	青木浅間線 沢渡17	—	—	15,981	11,397	10,314	1,083	4,584	3,571	1,013	
	鶴見三ツ沢線 片倉町695	26,171	24,273	20,454	13,719	13,562	157	6,735	5,164	1,571	
一般市道	鳥山第207号線 三枚町108-1	21,533	20,611	15,980	10,947	10,865	82	5,033	3,547	1,486	

[資料：全国道路交通情勢調査（道路交通センサス）]

■鉄道運輸状況（平成20年度区内各駅乗車人員）



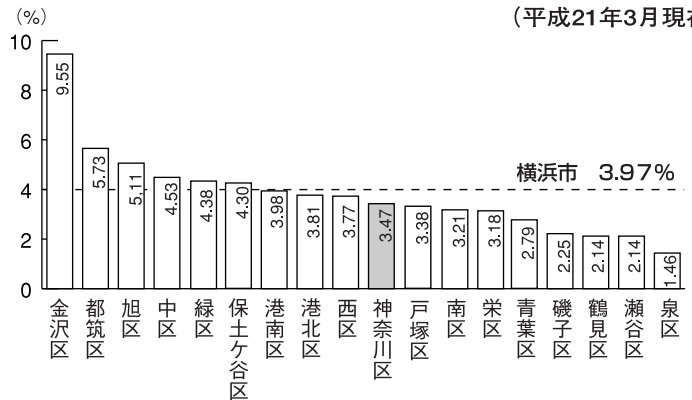
●公園・緑

■区別公園の状況（県立公園を含む）
（平成21年3月31日現在）

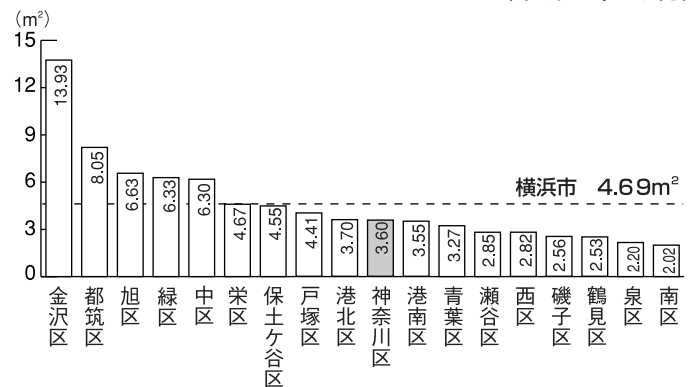
	公園数（か所）	面積（㎡）
横浜市	2,575	17,263,214
鶴見区	129	693,494
神奈川区	149	817,875
西区	45	263,233
中区	82	933,120
南区	129	405,048
港南区	176	790,655
保土ヶ谷区	157	936,902
旭区	193	1,674,305
磯子区	114	427,327
金沢区	202	2,930,943
港北区	164	1,194,202
緑区	148	1,113,977
青葉区	226	979,531
都筑区	136	1,596,948
戸塚区	210	1,206,333
栄区	124	589,771
泉区	95	343,814
瀬谷区	96	365,736

〔資料：環境創造局環境施設部水・緑管理課〕

■区域に占める公園面積の割合（県立公園を含む）
（平成21年3月現在）

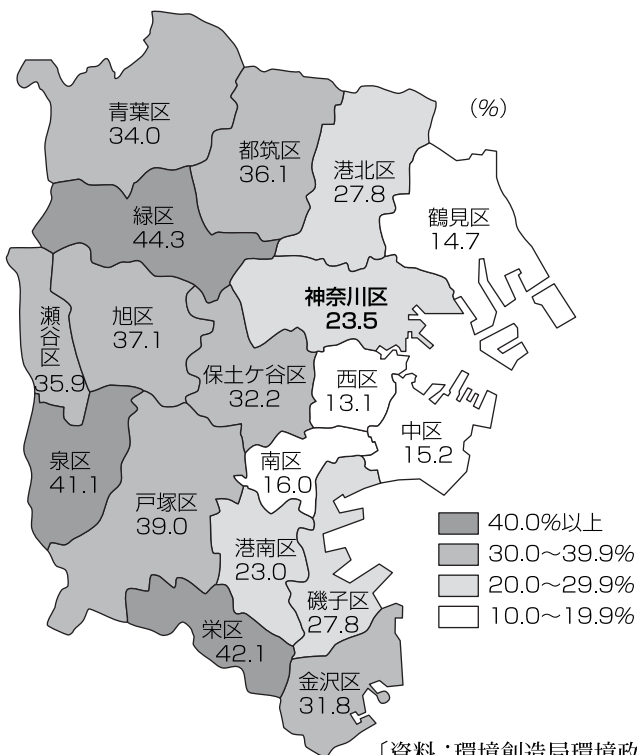


■区民一人あたりの公園面積（県立公園を含む）
（平成21年3月現在）



〔資料：環境創造局環境施設部水・緑管理課〕

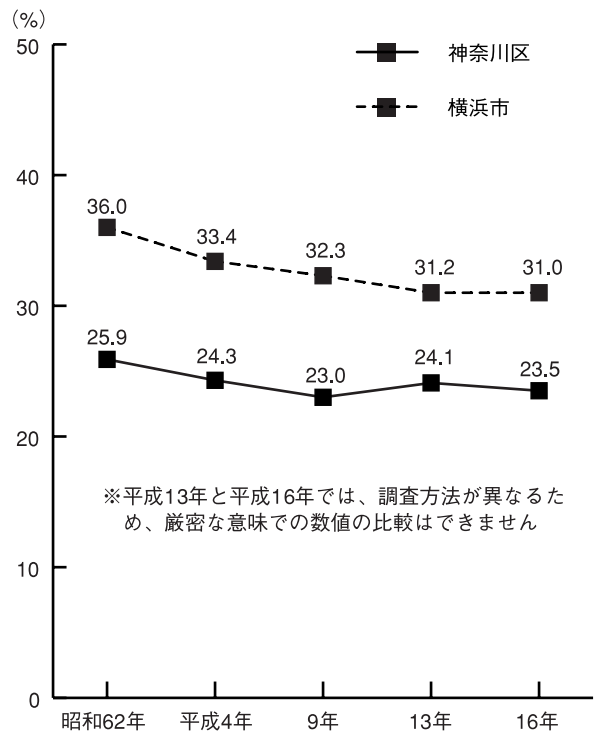
■区別緑被率（平成16年）



〔資料：環境創造局環境政策課「平成18年度版よこはまの緑」〕

緑被率…山林や公園の緑、畑、果樹園、草地等の割合を表します。

■緑被率の推移



「ヨコハマはG30！」

横浜市のごみ排出量は人口の伸びを上回って増え続けていました。このままでは焼却灰を埋め立てる処分場が不足し、新たな整備が必要になります。整備費用を節減し、環境の保全をめざし、次世代に住み良い都市環境・豊かな地球環境を残していくために、早急に対策を考えねばなりません。

そこで、横浜市では、平成22年度のごみ排出量を平成13年度に対し30%減らすという目標をたて、市民・事業者の皆さんと一緒にごみの減量・リサイクルをすすめ、循環型社会の形成をめざす取り組みを行っています。

神奈川区の家庭ごみ量の推移

G30の成果により、横浜市内全域において、ごみの減量化が進んでいます。

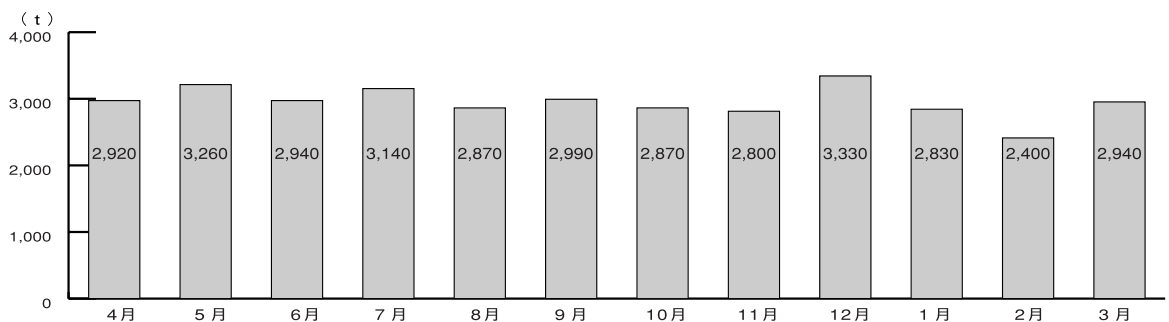
なかでも神奈川区は、燃やすごみ（家庭ごみ）の減量が著しく、平成13年度に比べて、41.3%減少しています。減量率は、3年連続市内18区中第1位となりました。

■神奈川区の家庭ごみの量の推移

平成16年度	17年度	18年度	19年度	20年度
54,178	37,243	37,923	36,120	35,280

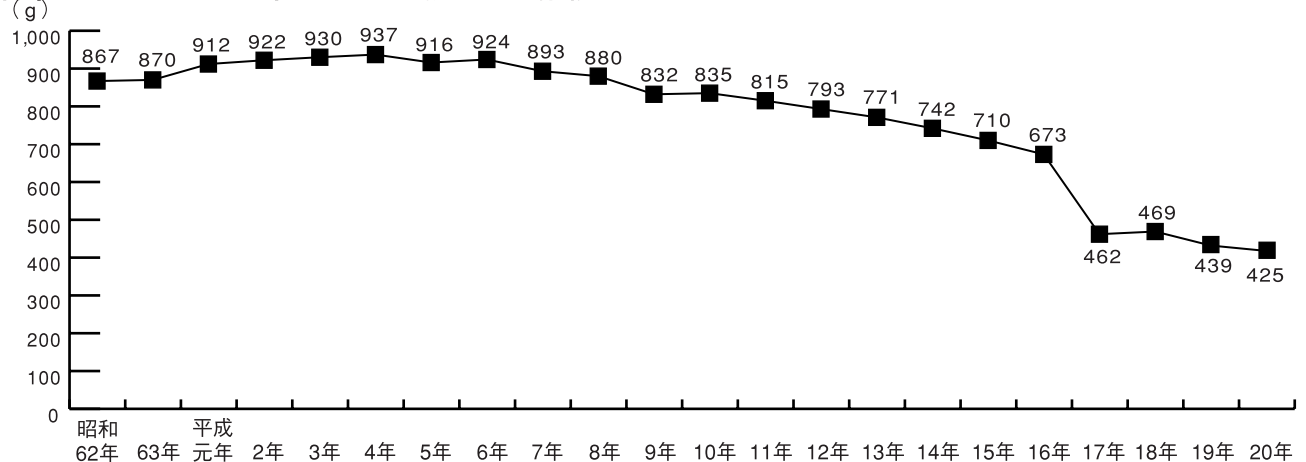
〔資料：神奈川区地域振興課〕

■神奈川区の月別家庭ごみ処理量（平成20年度）



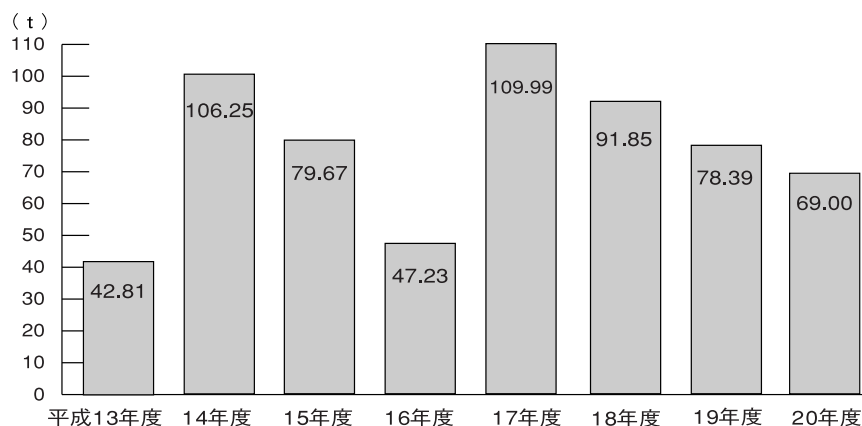
〔資料：神奈川区地域振興課〕

■神奈川区の1人1日当たりのごみ排出量の推移



〔資料：神奈川区地域振興課〕

■神奈川区の不法投棄ごみ量の推移（資源循環局神奈川事務所収集分）



〔資料：神奈川区地域振興課〕

●上下水道

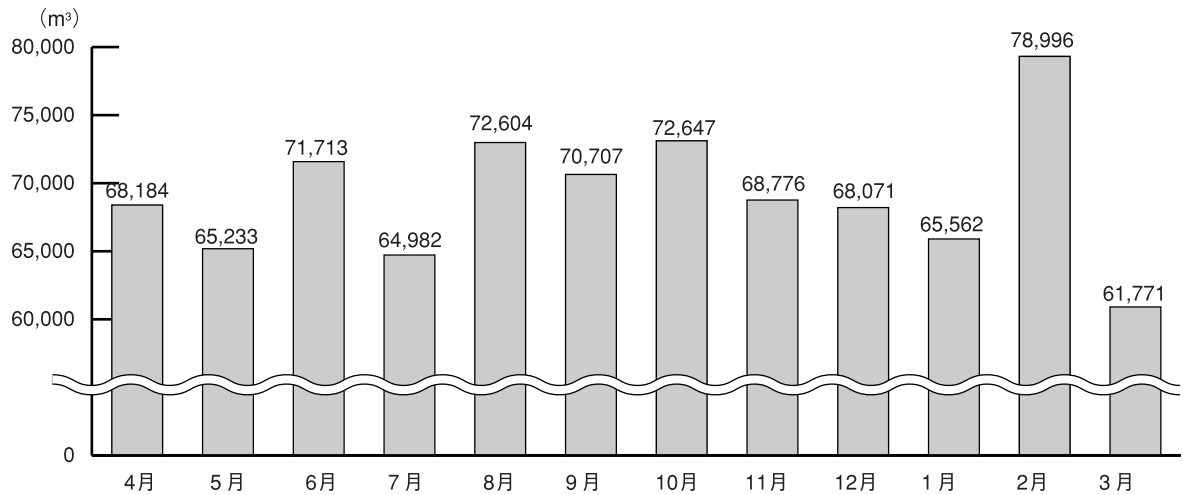
●水道

■神奈川区の用途別水道使用量（平成20年度）

	給水戸数（戸）	年間給水量（m ³ ）
家事用	122,653	20,042,275
業務用	4,890	4,999,315
その他	11	146,907
合計	127,554	25,188,497

〔資料：水道局鶴見・神奈川地域サービスセンター〕

■神奈川区の月別1日あたり使用水量（平成19年度）



※使用量は、偶数月検針区域と奇数月検針区域ごとの集計です。

〔資料：水道局鶴見・神奈川地域サービスセンター〕

●下水道

■区別下水道普及率（平成20年度末現在）

(%)

鶴見	神奈川	西	中	南	港南	保土ヶ谷	旭	磯子	金沢	港北	青緑	都築	戸塚	栄	泉	瀬谷
100	99	100	100	99	99	99	99	100	99	98	99	99	99	99	99	99

■下水道普及率の推移（各年度末現在）

(%)

	平成11年度	12年度	13年度	14年度	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度
横浜市	99.1	99.5	99.6	99.6	99.6	99.7	99.7	99.7	99.7	99.8
神奈川区	99	99	99	99	99	99	99	99	99	99

〔資料：環境創造局管路保全課〕

(処理区域内人口÷総人口)

※横浜市全体については、小数点第1位まで公表。